

各位

会社名 株式会社果実堂
 代表者名 代表取締役社長 井出 剛

問合せ先 経営企画室 室長 小板橋 達也
 総務経理室 主任 緒方 美穂
 電話 096-289-8883

平成28年（2016年）熊本地震への対処（井戸掘削工事）の完了に関するお知らせ

平成28年（2016年）熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社は、震災からの復興の一環として、2016年5月10日開催の取締役会において井戸3基の掘削工事を行うことを決議し、本日付で全ての工事が完了しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 井戸掘削工事の背景

当社の主力農場が展開する熊本県益城町・西原村・菊陽町地域一帯に農業用水を供給する大切畑ため池（貯水量85万トン、受益農家874戸、受益面積717ha）は、熊本地震の被災により貯水量がゼロとなり、現在も復旧の見通しが立っておりません。

したがって、当社は国内最大のベビーリーフメーカーとして、雇用の維持確保とお客様への供給責任という責務を果たすため、益城町地区への井戸3基の掘削工事（総額40百万円）を行い、代替水源を確保することにいたしました。

2. 井戸掘削工事の概要

(1) 工事の概要	井戸3基及び附帯設備		
	1号基（青木圃場）	2号基（森本圃場）	3号基（山下圃場）
(2) 取得価額	14,473千円	13,459千円	12,149千円
(3) 配水能力	毎分160ℓ	毎分150ℓ	毎分150ℓ
(4) 受益ハウス棟数	37棟	37棟	11棟＋露地※

※3号基の完成を受けて、高機能ビニールハウス「高瀬式14回転ハウス」の建設準備を進めております。



3. 井戸掘削の効果（震災前の貯水池利用型との比較）

（1）収量の向上

阿蘇山麓の地下水は年間を通して水温がほぼ一定であるため、葉菜の生育に適しており、特に厳夏期・厳冬期における収量向上が期待されます。また、地下水は自然の土壌等でろ過されて水質が良いことから、病気の発生を防ぎ、品質向上による収量増加も期待されます。

（2）作業効率の向上

従来、灌水チューブ（微細な孔が空いたチューブに水を通すことで、放射型に散水する資材）の目詰まりを防ぐために灌水都度（1作毎に5～6回）清掃作業を行っていましたが、阿蘇山麓の良質な地下水を利用することで、目詰まりが減少し、灌水作業の効率化が期待されます。



灌水の風景（高瀬式14回転ハウス）

4. 業績への影響について

本件井戸の完成により主力の益城町地区の農場の多くで灌水作業を再開することができます。適切な水管理は、ハウス内温度、土の構造、微生物バランス及び肥料濃度の全てに影響を与える当社のコア技術（ソフト）であり、当社が開発した新型ビニールハウス「高瀬式14回転高機能ハウス」（ハード）との両輪により、秋冬の需要期に向けてベビーリーフ生産量を拡大させ、平成28年（2016年）熊本地震からの復興に一段と弾みをつけてまいります。

以 上